

# あじさい



〒650-0013 神戸市中央区花隈町33番19号 Tel.(078) 351-0657(代表) http://www.kobe-kango.ac.jp/



## 卒業生の就職先病院の訪問を終えて

公益社団法人 神戸市民間病院協会 神戸看護専門学校  
副学校長兼教務主任 大西 安代

本校は、「自ら感じ考え行動できる看護師の育成」の教育理念を基盤に、卒業後も自ら学び成長し続けることができることを目指し、ポートフォリオを活用したプロジェクト学習を導入して6年が経過しました。そこで、過去3年間の卒業生を対象に教育の成果、臨床能力の評価を実施しました。

平成26年9月～12月に学校長と共に、卒業生の就職先の病院で同意が得られた27病院を訪問し、評価の実施と共に卒業生の職場定着支援および動向の把握を行いました。評価に関しては、平成24年～26年の卒業生23名に協力を得て(回収率32%)調査しました。看護実践の内容を6つのカテゴリーに分け3段階で評価した結果、総じて自己評価より他者評価(新人教育担当者に相当するもの)が高く、「看護の展開」に関しては低い結果でしたが、これは本校の卒業生に限らず新人看護師の課題だと言われており、卒業経験を重ねることでさらに身につけていく内容だと考えます。(表1参照)プロジェクト学習で「ビジョン」と「ゴール」を設定して自ら学んでいく学習方法は、「6割の者が就職後に役に立った」と答え、「常に達成できる目標を立てる習慣が身についた」「1年毎にビジョンと「ゴール」を決めて計画的に学習をしている」と回答していました。このことは、プロジェクト学習を用いた教育方法が主体的な学習する力を養っている成果だと考えられます。

職場定着支援としては、悩みを聞き就業継続を促し、職業紹介業者に頼らない転職への啓蒙等を実施することができました。卒業生の動向として、新卒後2～3年で転職しているものが多いですが、その後も民間病院に再就職していることが分かりました。その際、職業紹介業者を利用していたことが分かります。卒業生の再就職支援に向けての学校の役割について認識を新たにすることができました。

臨床場において、看護師不足問題や新卒看護師の実践能力の向上など課題が多い中、学校と民間病院が連携を取り卒業後の就業継続や、看護実践能力が高められる様に共に看護師の育成をしていきたいと考えています。現在の看護基礎教育の中では、実践能力を身につけることは困難で限界がありますが、自ら能力の開発及び向上を図る能力の基礎を学生の間に培っておくことは卒業後の実践能力の向上につながる重要な要素だと考えています。今後も、社会のニーズに対応できるよう看護基礎教育における教育内容の検討や自ら学習できるための学習環境の充実を図り、地域に貢献できる看護師の育成を目指していきます。今後とも学校へのご理解とご支援をよろしくお願い致します。

この度の病院訪問にご協力頂いた関係者の皆様には、深く感謝申し上げます。

### 平成27年度 入学式



平成27年4月9日(木)本校8階講堂にて13期生70名の新入生を迎え、入学式が執り行われました。

### ■新卒看護師の実践能力評価(表1)

3点:いつもできている 2点:ときどきできている 1点:たまにできている n=23

カテゴリー	自己評価の平均	他者評価の平均
看護職員としての自覚と責任	2.45	2.61
医療安全の確保	2.24	2.31
患者との良好な人間関係	2.23	2.37
主体的な学習	2.13	2.2
組織人としての適切な行動	1.94	2.14
看護の展開	1.26	2.02

(カテゴリーは日本看護協会「新人看護職員研修ガイドライン」を参考に作成)





入学して



1年生 小林 正臣

私が看護を志した理由は二つあります。一つは多様な人の価値観や、自分たち自身の身体や心への理解に関心があるからです。もう一つは普遍的な健康生活の必要性や有り難みを日々感じており、何らかの形で貢献できればと考えているからです。男性社会人での不安もありましたが、新しい変化へのチャレンジを当校に受け入れていただき、入学することができました。

わからないことばかりですが、皆さんについていける様、日々前進できるように頑張りたいと思っています。

新入生の自己紹介

特任教員 深井 功一郎

入学式の翌日、各自が作成してきたパーソナルポートフォリオを用いて、人ずつ自己紹介を行いました。学生それぞれが大切にしているもの、頑張ってきたことなど、自分のアピールポイントを生懸命工夫しながら発表してくれました。

年齢層やこれまでの人生経験も様々ですが、これから共に頑張っていく仲間として、互いを知り合える良い機会になったと思います。

未来教育プロジェクト学習

4月20日に兵庫県中央労働センターにおいて、鈴木敏恵先生を講師に迎え未来教育プロジェクト学習を開催しました。

全校生、全専任教員、実習病院・実習施設の指導者が参加しました。パワフルな講義に多くの学びと刺激を受けました。

「常に未来に活かす意図をもつこと、学習の成果を上げるとともにより高い成長のために、自らがビジョンとゴールを明確にして、課題発見し課題解決策を考え実施する。「知の成果」を生みそのプロセスは論理的でわかりやすく表現できる能力を身につけること」への理解が深まりました。

実習調整者 岩築 敦子



1年生 山川 緑

入学式から約1ヶ月、13期生は年齢もバックグラウンドも様々ですが、看護師になるという固い意志はひとつに、その勉強の第歩を歩み始めました。3年間という短い期間の中では、一回の授業、実習、ひとつのビジョンとゴールを決め、確実にステップアップすることが看護師の基礎になるのだと思っています。主体的に学び、感じ、考え、行動できる力を養い、心優しい看護師を目指して、毎日小さな目標をつくって、自分の立ち位置を意識しながら学校生活を送りたいです。

卒業生 カムバックデー

平成27年5月25日(月)に、例年通り卒業生カムバックデイを開催しました。

就職してもうすぐ2カ月を迎える中、52名の卒業生が学校に戻り、それぞれが近況報告を行いました。現場の厳しさを実感しながらも、生懸命先輩看護師に近づきたいと思っている気持ちも伝わってきました。今後、看護職を続けていく中で、更に自



副学校長兼教務主任 大西 安代

覚や誇りを持ち成長していつか、れることを願いつつ閉会となりました。

特別講義について

新入生オリエンテーション中の4月14日に喫煙について千森先生より、続いて4月15日にはサイバー犯罪について兵庫県警よりご講義いただきました。入学して間もない時期でもあり、学生は緊張感を持ちつつ、また講義いただいた内容についても興味を示しながら熱心に聴講させていただきました。喫煙については今後の看護に活かしていけるよう、講義後にも質問をしながらも知識を得ることができました。サイバー犯罪についても看護師の倫理として、また自身の安全を守るための意識づけになったようです。

専任教員 川東 淳子

平成27年度 就職説明会

4月21日、労働センターにおいて、就職説明会を開催いたしました。参加施設は46施設で、ブース形式で2部屋を使つての開催となりました。参加学生は1200名で、今年度は、特に、入学したばかりの1年生は、全くイメージできないため、少しでも多くの施設の話を聞いてもらいたいとの思いもあり、スタンブラー形式で参加してもらいました。平均4〜5施設のお話を聴くことができたようです。また、ほとんどの学生が、中規模病院、単科の病院など機能別に幅広く参加していました。今後、情報を持ち帰り、家族とともに考えていってもらいたいと思います。

副教務主任 迫田 貴子





# 学 外 研 修



1年生  
今西 琴音

入学してからすぐの学外研修であり、クラスの人たちともあまり馴染めていない状態だったのでとても不安でした。でも自由時間の遊びやバーベキューを通して色々な人と接する事で、自然と打ち解けていき、13期生全員の絆がとて深まったのではないかと感じました。これからの3年間、大変なこともたくさんあると思いますが、13期生みんなの力を合わせて乗り越えていきたいと思えます。



2年生  
前原満理奈

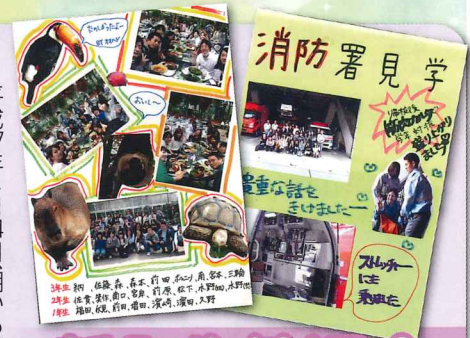
今回、2年生は、淡路島にあるイングランドの丘に行きました。天候にも恵まれ、たくさん自然や動物にも触れあうことができました。昼食のバーベキューではクラスのメンバーでワイワイと楽しみながら食べる事ができ、またスワンに乗ったり、ゴ

カートで競争したりと、笑い声の絶えない楽しい日でした。これから実習や勉強になるとは思いますが、クラスの仲間と一緒に頑張っていきたいです。



3年生  
平山あかね

3年生は丹波にて立杭焼を体験しました。皆が初めてで真剣に取り組み、良い経験となりました。フルーツラワーパークへの移動後はバーベキューをし、施設にて楽しい時間を過ごすことができました。残り1年間の学校生活を皆で頑張っていこうと思えた日となりました。



## 新入生歓迎会

平成27年4月24日朝から晴天に恵まれ、新入生歓迎会を行いました。

今年はグループをピアサポートメンバーで編成しました。2年生が主体となり、在校生同で新入生を歓迎するための準備を進めました。各グループでビジョンゴールを設定し、いざ出発!! 動物王国、ボウリング、映画、神戸トリックアート、大蔵海岸でのバーベキューなどグループ毎で



行き先は違いましたが、学年間の楽しい交流が図れました。どのグループも学年を越えた良い関係作りができ、ゴールを達成できたようです。 楽しく充実した歓迎会となりました。皆さん、お疲れ様でした。 専任教員 三原 満代



1年生  
宮丸 夏海

4月24日3学年混合のピアサポートグループで新入生歓迎会をして頂きました。私たちのグループは大蔵海岸へ行きまし、共に汗をかくことで一体感がうまれました。昼食はバーベキューを楽しみながら、先輩方と写真を撮ったり、学校生活のことから趣味のことまで沢山お話をさせて頂き、とても貴重なふれあいの場となりました。

## 韓国交流会

平成27年6月3日(水)、東義科学大学校(釜山の看護大学)の4年生12名、引率教授2名が本校を訪問しました。

学校見学の後、本校の2年生11名と文化交流を図りました。11:00~13:00と短い時間でしたが、楽しい時間を過ごし貴重な体験ができました。

副学校長兼教務主任 大西 安代



## 防火訓練

4月23日、防火訓練を実施しました。今年は、煙体験を行うてもらいました。煙が充滿した教室で足元や目の前も全く見えないう手探りだけの避難を体験し、学生・職員ともに火災の恐ろしさを実感しました。消防士の方より全学生、冷静で速やかに避難できていたとの講評を頂きました。



副教務主任 迫田 貴子



### 教育理念・教育目的・教育目標

#### 教育理念

本校は兵庫県下の民間病院の医療を担う看護者の育成を目的とし、医療安全に対する意識を高く持ち、自ら感じ考え行動できる専門職業人の育成を目指す。

看護はあらゆる健康状態の人々を対象とし、生涯を通してその最期までその人らしい生活を送れるように支援することである。

また、学生一人ひとりをかけがえのない存在としてとらえ、可能性を引き出し、その能力を最大限に発揮できるように支援する。

#### 教育目的

本校は看護師に必要な基礎的知識・技術・態度を修得し、豊かな人間性を育み、倫理的価値観を形成し、兵庫県下の民間医療に貢献できる看護の実践者を育成することを目的とする。

#### 教育目標

1. 生命の尊重と人間愛を基礎とし、相手を思いやる豊かな人間性を養う。
2. 人間を統合的に理解し、看護を必要とする対象に対して、根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
3. 看護職としての役割と責任を認識し、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる基礎的能力を養う。
4. 自らの意志で学び、よりよい看護を探究する基礎的能力を養う。



### 有料職業紹介事業への参入

神戸市民間病院協会の会員病院では看護師の確保が重要な課題であり、これを協会としてサポートするために、今年度は協会自らが「有料職業紹介事業」に参入する計画です。可能な限り早期に実施できるように協会として全力を傾注することとしております。事業を実施することにより会員病院の看護師確保に資するよう頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

事務部長 矢内 隆夫

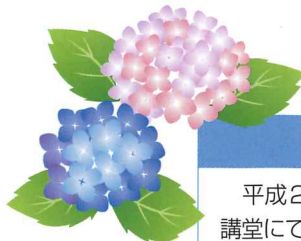
### 平成27年度年間予定表

行事	
4月	入学式 奨学金病院説明会 特別講演 健康診断 防火訓練
	学生間交流会(全学年) 新入生歓迎会 学外研修(全学年)
	5月 卒業生カムバックディ
	6月 歌舞伎鑑賞(1年生) 講師会議
	8月 実習指導者会議 オープンキャンパス

行事	
9月	学生間交流会(全学年) あじさい式(宣誓式) 防災訓練 実習指導者会議(研修会)
	11月 推薦・社会人入学試験
	12月 解剖見学(1年生) 学生間交流会(全学年)
1月	一般入学試験(一次) 全卒業生カムバックディ
	2月 一般入学試験(二次) 入学前説明会 実習指導者会議(交流会)
3月	卒業証書授与式 入学前説明会 就職先教育担当者との交流会

### 第104回 看護師国家試験合格率

国家試験合格率	
本校	全国平均(新卒者)
98.4%	95.2%



### 同窓会だより

平成27年5月25日(月)、神戸看護専門学校の講堂にて参加者60名参加のもと同窓会総会が開催されました。平成26年度会長谷口真大氏より、平成26年度の活動報告を行い、その後平成27年度の役員選出および承認を行いました。

平成27年度会長として私、3年課程4期生の西下健司が会長を務めさせていただきます。就任期間で、同窓会の皆さんとの交流として何かできるかわかりませんが、出来る限りのことをやり遂げたいと考えています。

平成27年度計画の一つとして平成26年度期間中に検討し続けていた学校へ看護技術シミュレーション教材の贈呈と、全卒業生カムバックディ企画を総会で報告し、参加者の賛同を得ました。皆さん、同窓会企画行事に参加するのを機会に皆で集まり近況報告会等を行っていきませんか。

### 編集後記

今年度4月より新しく5名の先生方が入職されました。教務部に新しい顔がそろい心機一転、全職員で頑張っていくとスタートしました。改めて教育理念にもある「学生一人一人をかけたえのない存在」として捉え、「感じ考え行動できる心やさしい看護師」を育成していきたいと感じたところです。

新しい風を感じながら、今年度もより学校理解が深められるような広報誌にしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひします。皆さまからのご意見・ご要望をぜひお待ちしております。

あじさい 第11号

発行日 平成27年7月13日

発行所 公益社団法人神戸市民間病院協会

神戸看護専門学校

発行責任者 林 美 栄 子

印刷所 有限会社 河里盛広館